

メディアスエフエム第76回番組審議会 議事録

1. 審議日程

令和2年5月20日(水)

2. 場所

書面審議による

3. 審議者 ※敬称略、五十音順

委員) 市野恵、下村一夫、関雅夫、林繁八、森岡厚喜

以上5名

4. 議事内容

(1) 報告事項(書面送付にて)

- ・コロナウイルス感染症拡大防止対策について
- ・5月の活動報告
- ・今後の活動予定

(2) 番組について審議・・・委員

5. 審議内容

(1) 番組審議「未来へのヒカリ～知多市制50周年SP」

- 市野委員 / ・楽曲の制作者の思いが伝わってきて良かった
- ・楽曲制作の裏話など、十分イメージを持って聞くことが出来た
 - ・パーソナリティがミュージシャン2人だったが、もう1人ミュージシャンではない人が出演していれば、もっと楽曲の魅力が引き出されたのではないかと思った

- 関 委員 / ・全体にエピソードトークや楽屋話が多く、また楽曲の製作者自身が番組を進行しているため、記念楽曲の製作意図などがリスナーに十分伝わったか疑問。客観的な第三者を番組進行役にすれば、より楽曲への各人の位置づけが伝わるのではないかと思った。
- ・番組内に挿入された楽曲「知多のそよかぜ」や「名鉄線に揺られて」は知多市の綺麗な紹介になっており、知ることが出来て良かった
 - ・コロナ禍についてあまり触れていないが、むしろ積極的に記念楽曲を掲げ前向きに頑張ろう、とアピールしても良かったのではないかと感じた
- 森岡委員 / ・番組を2度3度と聞き直すと、強い思いの中で楽曲が形作られていることが分かり、その過程を楽しんで聴くことができた
- ・通常の番組のような色々なコーナーが無く、特別番組ならではの面白さを感じた
- 林 委員 / ・知多市制50周年を機にこうした特番を企画することは、市民にとって市を理解し、協力するために大いに役立つと感じた
- ・楽曲制作に関与した8人のふるさと観光大使の一人一人の持ち味が上手く説明されていて、興味深く聴くことが出来た
 - ・楽曲制作の裏話を聴くことによって違った観点からの愛着がわくと感じた
- 下村委員 / ・今後も地域情報に特化した内容を放送してほしい

以上

文責：メディア事業部 大賀鉄也